区連会 10 月定例会説明資料 環境創造局みどりアップ推進課

> 環創み第 1025 号 令和4年10月21日

各自治会·町内会長様

横浜市環境創造局 みどりアップ推進課長 坂井 和洋 政策課みどり政策調整担当課長 岩間 隆男 横浜市財政局 税務課長 江口 昌克

横浜みどりアップ計画[2019-2023] 3か年[2019(令和元)~2021(令和3)年度]の実績概要リーフレット作成の ご報告等について

- (1) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 3か年[2019(令和元)~2021(令和3)年度]の 実績概要リーフレット作成のご報告について【資料1】
- (2)「これからの緑の取組」素案の市民意見募集について(12月下旬から実施予定) 【参考資料】

【問合せ】

資料1に関すること

□横浜みどりアップ計画の実績に関すること 環境創造局みどりアップ推進課 TEL:671-2712 FAX:224-6627 □横浜みどりアップ計画に関すること 環境創造局政策課 TEL: 671-4214 FAX: 550-4093 □横浜みどり税に関すること 財政局税務課 TEL: 671-2253 FAX: 641-2775

参考資料に関すること

□これからの緑の取組」素案の市民意見募集に関すること 環境創造局政策課 TEL: 671-4214 FAX: 550-4093

各自治会·町内会長様

横浜市環境創造局 みどりアップ推進課長 坂井 和洋 横浜市財政局 税務課長 江口 昌克

横浜みどりアップ計画[2019-2023]

3か年[2019(令和元)~2021(令和3)年度]の実績概要リーフレット作成の ご報告について

横浜みどりアップ計画につきましては、平成21年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、推進しています。令和元年4月からは3期目となる5か年計画に取り組んでいるところです。

このたび、3か年[2019(令和元)~2021(令和3)年度]を振り返り、取組の成果を事業報告書にま とめましたのでご報告いたします。報告書全体は市ホームページや、公共施設等で閲覧ができます。 また、概要のリーフレットと、横浜みどり税のチラシについては、市連会及び区連会での説明後に、 単位自治会町内会長あてに各1部送付させていただきます。

今後も、「横浜みどりアップ計画」を着実に推進してまいりますので、御理解・御協力をよろしく お願い申し上げます。

【配布資料】

- 1 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 3か年[2019(令和元)~2021(令和3)年度]の実績 概要リーフレット【別紙1】
- 2 横浜みどり税のチラシ【別紙2】
- 3 【参考資料】 3 か年[2019(令和元)~2021(令和3)年度]の 区別実績





【別紙1】

【別紙2】

*別紙1「3か年[2019(令和元)~2021(令和3)年度]の実績概要リーフレット」及び別紙2「横浜みどり税のチラシ」については、例年、各自治会・町内会の皆様へ班回覧をお願いしておりましたが、新型コロナウィルスの影響により、令和2年度から回覧を見合わせています。PRボックス、市役所及び区役所の窓口等への配架は例年通り行います。

【問合せ】

- 口横浜みどりアップ計画の実績に関すること
 - 環境創造局みどりアップ推進課 TEL:671-2712 FAX:224-6627
- □横浜みどりアップ計画に関すること
 - 環境創造局政策課 TEL: 671-4214 FAX: 550-4093
- □横浜みどり税に関すること

財政局税務課 TEL: 671-2253 FAX: 641-2775

市民の皆様の参加をお待ちしています/

みどりアップを体感しよう

横浜みどりアップ計画では、市民の皆様に緑を身近に感じていただけるよう、 緑にふれる空間づくりやイベント開催を多数行っています。また、市民の 皆様の緑や花を守り増やす取組をサポートする制度を設けています。 ぜひ皆様も緑にふれ、横浜のみどりアップを体感してください。

∖みどりアップを楽しもう!/

イベント・体験のスポットをご紹介します



ほかにも、18区役所で 様々な取組を行っています



森にふれる

散策など森にふれる イベントやスポット

ウェルカムセンター(5か所) 市民の森/ふれあいの樹林など 市民の森ガイドマップ/森づくり体験会



横浜自然観察の森(栄区)

農にふれる

農畜産物の直売など農にふれる イベントやスポット

収穫体験農園/市民農園 直売所/マルシェ



農ある横浜あぐりツアー(泉区)

緑や花にふれる

まち歩きなど緑や花にふれる イベントやスポット

花の見どころカレンダー ガーデンネックレス横浜/里山ガーデン フェスタ/都心臨海部等の緑花



港の見える丘公園(中区)

\みどりアップの活動に参加しよう!/

市民の皆様が活用できる制度を一部ご紹介します

詳しくはHPを





	制度名	制度内容	募集時期
団体・個人向け	① 地域緑のまちづくり	地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街で緑を創出する 計画をつくり、市と協働で緑化を進めます(費用助成あり)	4~6月
	② 人生記念樹の配布	出生、入学、還暦などの人生の節目を記念して、 市内で生産された苗木を希望者に無料で配布(年2回)します	通年
	③ 名木古木の保存	古くから親しまれてきた故事、来歴などのある樹木を 指定して所有者の維持管理を費用助成などで支援します	指定申請:例年6月まで 助成申請:例年1月まで
	④ 森づくり活動団体への支援	市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体を対象に 森づくりに必要なサポート(道具の貸出しなど)を行います	お問い合わせください
	⑤ 森づくりボランティア	森づくり活動団体が市と協働で行っている市内の森を育む 体験会や研修会に参加できます	登録は通年
事業者・学校等向け	⑥ 地産地消ビジネス創出支援事業	地産地消に関するビジネスプランをつくる講座を開催し、 選定された事業に対して費用を補助します	11月(予定)
	⑦ 子どもを育む空間での 緑の創出・育成	園庭・校庭の芝生化やビオトープの整備、花壇づくり、 屋上緑化などの費用助成や技術サポートを行います	例年1月末まで
	® 公開性のある緑空間の 創出支援	駅前や都心部などの多くの人が訪れる公開性のある民有地 (市街化調整区域を除く)において、法令等で定める基準以上 の緑化を行う場合に費用を助成します	例年1月末まで

横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている 附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を 報告書にまとめているほか、広報誌「みどりアップAction」を発行しています。





「みどりアップAction」

お問合せ「横浜みどりアップ計画」について

環境創造局政策課 TEL.045-671-4214 FAX.045-550-4093

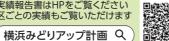
「横浜みどりアップ計画」の各事業について

環境創造局みどりアップ推進課 TEL.045-671-2712 FAX.045-224-6627

「横浜みどり税」について

【個人市民税】各区役所税務課 または財政局税務課 TEL.045-671-2253 FAX.045-641-2775 【法人市民税】財政局法人課税課 TEL.045-671-4481 FAX.045-210-0481

実績報告書はHPをご覧ください 区ごとの実績もご覧いただけます



横浜みどり税を財源の一部に活用

横浜みどリアップ°計画 [2019-2023]

3か年 の実績 概要 [2019(令和元)~2021(令和3)年度の実績]



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を 財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を進めています。 このリーフレットは、2019(令和元)~2021(令和3)年度に実施した事業の実績を、概要としてまとめたものです。





計画の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

樹林地の保全の進展

3か年で108haの樹林地を新たに保全指定しました。

緑地保全制度による指定の実績

これまでの みどりアップ計画

(2009~2018年度) 10年間 **905**ha みどりアップ計画以前 (1969~2008年度) 40年間 **861**ha

2019~2021年度 **108**ha



- ▶ 緑地保全制度による新規指定 108.0ha
- ▶ 市による買取り

市民が森に親しむための取組の展開

市民が気軽に森の中に入り 森に親しむことができるよう に、市民の森などの整備を進 めました。

▶ 保全した樹林地の整備 227か所



ト川井市民の森(旭区)

保全した樹林地の良好な維持管理や 安全の確保を市民協働で推進

保全した市管理の樹林地を良 好かつ安全に維持管理すると ともに、森づくり活動団体に対 する支援や、民有樹林地所有 者に対しての維持管理費用の 一部助成を行いました。



- ▶ 維持管理の助成(民有地)
- ▶ 森の維持管理(市管理地) 樹林地:464か所、公園:112か所

コロナ禍での工夫

コロナ禍で身近な自然にふ れあうニーズが高まる中、外 出の機会が減った子どもた ちが参加できる自然の中で のびのびとすごす森のイベ ントを多く開催しました。



よごはま森の楽校(緑区)

市民が実感できる緑や花をつくる

市民が実感できる緑と花の空間づくりの推進

公共施設や公園、保育園など、市民の身近な場所で実感できる 緑を創出しました。



- ▶ 公共施設・公有地での緑の創出
- ▶ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 131か所
- 21か所

小学校の花壇整備(南区)

緑や花による街の賑わいづくりの推進

多くの市民が集まる都心部の 公共空間などで、緑や花によ る空間演出を集中的に展開し、 街の魅力の向上、賑わいづく りを進めています。

▶ 都心臨海部等の緑花による 魅力ある空間づくりと維持管理

44か所



グランモール 公園 (西区)

全区での市民や企業との協働による 緑と花の取組の展開

オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推 進しました。併せて、取組の成果をガーデンネックレス横浜の中 で発信し、市民や地域・企業等の関心の高まりへとつなげました。





地域の花いっぱいにつながる取組(栄区) 緑や花を身近に感じる各区の取組(鶴見区)

▶ 緑や花を身近に感じる各区の取組 18区で推進

緑花による魅力ある空間づくり

山下公園で市民参加の球根 ミックス花壇の講習会を行 うとともに、市内の1,000か 所を超える公園で市民によ る花壇づくりを展開してい





市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な農景観の保全の推進

市内の水田面積の約9割を保全し、農地縁辺部の草刈りや植栽 等により良好な農景観を維持・形成しました。



水田の保全(戸塚区)

農地縁辺部への植栽(金沢区)

▶ 水田保全面積 112.2ha

地産地消の拡大

市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青 空市等の支援等を行いました。





横浜FCホームゲームにおける 地産地消イベント(神奈川区)

農とふれあう場や機会の増加

市民が気軽に農とふれあうた めに様々なニーズに合わせた 農園の開設を進めました。





農園付公園(瀬谷区)





▶ 様々なニーズに合わせた農園の開設 12.5ha

横浜農場

市内産農畜産物のブランド化を進め、その魅力を発信するた め、「横浜農場」を活用した統一的なPRや、都心臨海部での展 開などを重点的に進めています。







効果的な広報の展

様々な手法を用いて、幅広い年齢層にみどりアップ計画を 知っていただけるよう広報を展開しています。

- ●広報よこはま等への記事掲載
- PR動画の放映
- ●メールマガジンやSNS等による情報発信
- ●実績リーフレットの配布
- 取組の実施箇所への現地表示看板の設置
- ●横浜みどり税の広報
- ロゴ・マスコットキャラクターを活用したPR

横浜みどりアップ計画 構浜市環境創造局

計画を解説するアニメーションをSNSで発信





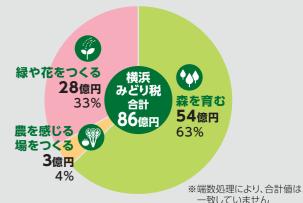
横浜みどりアップ計画の

横浜市役所アトリウムでのPR動画放映 公園花壇での現地表示プレートの設置

計画の事業費と横浜みどり税(3か年の累計)

2019(令和元)~2021(令和3)年度の事業費286億円のうち、 横浜みどり税を86億円充当し、活用させていただきました。

計画の柱ごとの活用額



横浜みどり税の使い道

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税の課税方式

【個人】市民税の均等割に年間900円を上乗せ ※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く

【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ



緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは重要な課題です。また、緑は一度失われると取り戻すことが困難です。

横浜市では、緑を守り、つくり、育む取組を進める「横浜みどりアップ計画」の重要な財源の一部として、平成21年度から市民の皆様に「横浜みどり税」をご負担いただいています。

いただいた「横浜みどり税」は、樹林地・農地の確実な担保、身近な緑化の推進などに活用しています。

横浜みどり税の 税額

個人市民税均等割に年間

900 円を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和5年度までです。

横浜みどりアップ。葉っぴー

横浜みどり税の 使いみち

- 1 樹林地・農地の確実な担保
- 2 身近な緑化の推進
- 3 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- 4 ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

<u>横浜みどりアップ計画</u> [2019-2023]





計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します



৺計画の柱 1

市民とともに

次世代につなぐ森を育む

5か年の主な取組

- 300ha の樹林地を新規指定
- 指定した樹林地における 維持管理の支援
- 森に関わるきっかけとなる
 イベントや広報を実施



≧計画の柱2

市民が身近に



5か年の主な取組

- ●水田の継続的な保全を支援
- ●様々な農園を開設するなど、 農とふれあう機会を提供
- ●市民や企業と連携した地産 地消の推進



⇒計画の柱3

市民が実感できる



5か年の主な取組

- ●地域で愛されている並木を再生
- ●地域緑のまちづくりや地域に 根差した各区での取組を推進
- ●緑や花による魅力ある空間づくり を推進



FAX: 045-550-4093

この3つの計画の柱と合わせ、効果的な広報の展開に取り組みます

<u>森林環境税(国税)と横浜みどり税</u>

■の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの?



目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の推進を図るほか、今後本格化する学校建替事業の財源として活用していきます。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、目的と使いみちが異なります。

●森林環境税(国税)・森林環境譲与税について

趣旨(目的)	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るための地方財源を安定的 に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和6年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で譲与(令和6年度までは、地方公共団体金融機構の 準備金を活用)
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその 促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

●「横浜みどり税」について .

環境創造局政策課

▶ 財政局税務課 電話: 045-671-2253 FAX: 045-641-2775

●「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」について、

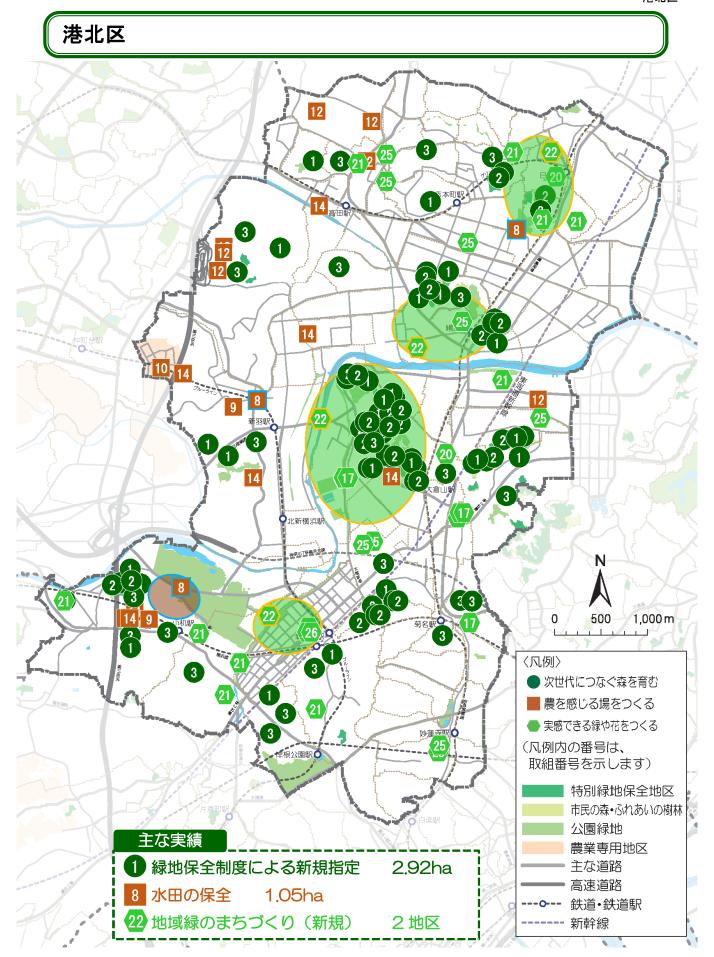
- 「#K77 | NO フェーデーエ [2010 2022] | の存事業について

「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」の各事業について。

▶ 環境創造局みどりアップ推進課 電話:045-671-2712 FAX:045-224-6627

令和2年6月発行 横浜市財政局税務課

電話:045-671-4214



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

| | 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

- 〇緑地保全制度による新規指定 2.92ha
- 特別緑地保全地区 近郊緑地特別保全地区

2020 年度 0.6ha 大倉山特別緑地保全地区(指定拡大)、綱島特別緑地保全地区(指定 拡大)

市民の森等

2020 年度 0.004ha 綱島市民の森(指定拡大)

2021 年度 0.02ha 熊野神社市民の森(指定拡大)

• 緑地保存地区

2019 年度 0.2ha 大倉山六丁目、岸根町、小机町、師岡町

2020 年度 1.2ha 小机町、篠原町

・源流の森保存地区

2019 年度 0.1ha 新吉田町

2020年度 0.3ha 新羽町(2か所)

その他

2021 年度 0.5ha 熊野神社市民の森

○市による買取り

•特別緑地保全地区 • 近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 熊野神社特別緑地保全地区、小机城址特別緑地保全地区

2021 年度 1 地区 大倉山特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 綱島市民の森

• 公園樹林部

2019 年度 1 地区 高田西公園

〇保全した樹林地の整備 12 か所

2019 年度 4 か所 大曽根台特別緑地保全地区、綱島市民の森、綱島東二丁目緑地、大豆戸緑地

2020 年度 4 か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、小机城址市民 の森、綱島東二丁目緑地

2021 年度 4 か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

〇森の維持管理 39か所

• 維持管理(樹林地)

2019年度 13	3 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2020年度 13	3 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地
2021年度 13	3 か所	大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 39件

2019 年度 11 件 菊名五丁目、岸根町(2件)、小机町(2件)、下田町三丁目、綱島台、錦が丘、新羽町、大豆戸町、師岡町

2020 年度 14 件 大倉山二丁目、岸根町(3件)、小机町、篠原町、新吉田町(4件)、 鳥山町、日吉本町六丁目、箕輪町三丁目(2件)

2021年度 14件 大倉山二丁目、菊名五丁目、小机町、新吉田町(8件)、新吉田東一丁目、高田西三丁目、師岡町

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

〇水田保全面積 1.05ha

2019年度 1.05ha 小机町、新羽町、箕輪町

2020 年度 1.05ha 小机町、新羽町、箕輪町

2021 年度 1.05ha 小机町、新羽町、箕輪町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 2件

2019 年度 1 件 新羽町

2021 年度 1 件 小机町

5 各区の実績 港北区

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

• 集団農地維持 11.0ha

2019 年度 10.9ha 新羽大熊農業専用地区協議会(港北区·都筑区)

2020年度 11.0ha 新羽大熊農業専用地区協議会(港北区·都筑区)

2021 年度 11.0ha 新羽大熊農業専用地区協議会(港北区·都筑区)

・農地縁辺部への植栽 3件

2019 年度 1 件 新羽大熊農業専用地区協議会(港北区・都筑区)

2020 年度 1 件 新羽大熊農業専用地区協議会(港北区・都筑区)

2021 年度 1 件 新羽大熊農業専用地区協議会

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.65ha

2020年度 0.32ha 新羽町 (3件)

2021年度 0.33ha 新羽町(2件)、日吉本町六丁目

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.47ha

• 収穫体験農園

2019年度 0.03ha 新吉田町

2020年度 0.11ha 新吉田町(2件)

• 市民農園

2019年度 0.17ha 高田町、樽町三丁目

2020年度 0.16ha 高田町、高田東三丁目

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 8件

• 直壳所 • 加工所

2020年度 5件 大倉山三丁目、新吉田町、新吉田東八丁目、新羽町(2件)

・青空市・マルシェ等

2019 年度 1 件 JA小机農産物直売所

2020 年度 1 件 JA小机農産物直売所

2021 年度 1 件 JA 小机農産物直売所

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2か所

2020年度 1か所 菊名コミュニティハウス

2021 年度 1 か所 港北区庁舎

○緑の維持管理 5か所

2019年度 2か所 港北区庁舎、港北土木事務所

2020年度 2か所 港北区庁舎、港北土木事務所

2021 年度 1 か所 港北土木事務所

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○空き桝の補植

2019年度	低木 450 本
2020年度	高木3本、低木50本
2021 年度	低木 735 本

○良好な維持管理

200 OWE 12 DIE	
2019年度	環状2号線(鳥山町~大豆戸町)、環状2号線(大豆戸町~師岡町) ほか 計752本
2020年度	環状2号線(師岡町~鳥山町)、宮内新横浜線ほか 計796本
2021 年度	太尾新道、早渕川左岸(高田西)ほか 計992本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 2件

2019年度 2件 大曽根一丁目、日吉本町一丁目

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2020年度	8本	小机町(2本)、樽	町四丁目、鳥山町	叮(3本)、箕輪町	J一丁目(2本)
2021 年度	7本	小机町、篠原町、 丁目	下田町三丁目、高	田町(2本)、鳥	出町、箕輪町三

5 各区の実績 港北区

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

• 新規

2019 年度 1 地区 綱島西地区

2020年度 1地区 日吉地区

• 継続

2019年度 2地区 大倉山地区、新横浜二丁目地区

2020年度 3地区 大倉山地区、新横浜二丁目地区、綱島西地区

2021 年度 2 地区 綱島西地区、日吉地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 オープンガーデンの開催支援(新型コロナウイルス感染症の影響でイベント中止)、大倉山観梅会

2020年度 オープンガーデンの開催支援、花と木のウォーキングマップ制作

2021 年度 オープンガーデンの開催支援

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 花の種の配布、花苗などの配布(新吉田第一公園ほか8か所)

2020年度 球根などの配布(市ノ坪公園ほか81か所)

2021 年度 花壇づくり講習会(太尾堤緑道)、球根などの配布(市ノ坪公園ほか 78 か 所)

24 人生記念樹の配布

〇人生記念樹の配布 1,524 本

2019年度 454本

2020年度 531本

2021年度 539本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 6か所

2019年度 2か所 港北保育園、大豆戸小学校

2020年度 2か所 高田東小学校、樽町中学校

2021年度 2か所 港北保育園、大豆戸小学校

○緑の維持管理 5か所

2019年度 3か所 港北保育園、第二尚花愛児園、高田東小学校

2020 年度 1 か所 高田東小学校

2021年度 1か所 南日吉保育園

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 3か所

2019年度 1か所 新横浜駅周辺

2020年度 1か所 新横浜駅周辺

2021年度 1か所 新横浜駅周辺

5 各区の実績 港北区



保全した樹林地の整備(大曽根台特別緑地保全地区)



2 森の維持管理 (綱島市民の森)



8 水田の保全 (小机町)



10 農景観を良好に維持する活動 (新羽大熊農業専用地区協議会)



47 公共施設・公有地での緑の創出・育成 (港北区庁舎)



22 地域緑のまちづくり (綱島西地区)

「これからの緑の取組」素案の市民意見募集について(12月下旬から実施予定)

横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、 財源の一部に「横浜みどり税」を活用し、令和5年度末を計画期間とする「横浜みどりアップ計画」に取り組んでいます。

緑の保全や創造は、長い時間をかけて継続的に取り組む必要があることから、本市では、 これまでの取組の成果を踏まえ、令和6年度以降に重点的に取り組む「これからの緑の取組」 について検討を進めています。

今後「これからの緑の取組」素案をとりまとめ、<u>12 月に公表するとともに市民の皆様への意見募集を予定</u>しています。なお、素案の内容や意見募集の期間等は、横浜市ホームページ、広報よこはま等で改めてお知らせします。

〇 スケジュール(予定)

令和4年12月下旬 「これからの緑の取組」素案の公表、市民意見募集の実施

意見募集の方法

素案(概要版)及び意見募集用紙を各区役所や市民情報センター、駅・主要な公 共施設のPRボックスに配架するとともに、横浜市ホームページに掲載予定です。

【 期 間 】 令和4年12月下旬 ~ 令和5年1月下旬

【提出方法】郵送・FAX・インターネット

- ※素案(本編)は、意見募集期間中に以下の場所での閲覧を予定しています。
 - ①各区役所
 - ②市民情報センター(市庁舎3階)
 - ③横浜市環境創造局のウェブサイト

【「これからの緑の取組」に関するお問合せ先】

環境創造局政策課

TEL: (671) 4214 FAX: (550) 4093

E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp